

(株)ハラキン多治見本部の社員が米作りを通じた農業体験型研修を実施。

< 岐阜県 >

1. 市町村・集落の名称	恵那市岩村町富田地区、上矢作町 A C T (アグリカチャー・トレーニング) 事業
2. 協働の相手(企業や大学等)の名称	(株)ハラキン多治見本部(岐阜県多治見市) 岐阜県多治見市旭ヶ丘10丁目6-64 Tel:0572-20-1581
3. 仲介者・コーディネーターの名称	恵那市
4. 協働のポイント	事業の提案企業である(株)ハラキンと恵那市・JAひがしみのが主体となって、地元農家・農業団体等の協力を得て『協働』の形で事業を展開している。
5. 協働のきっかけ・経緯	H17.1 (株)ハラキンが恵那地域の米を取り扱っていたこともあり、目に見える形で地域に貢献したいとの思いが常々あった。また恵那地域の米のブランド化や産地との繋がりを模索している中、A C T事業を思いつき、恵那市が提案を受け、事業を実施する運びとなった。
6. 取組の具体的な内容	社員研修の新たな取り組みとして、通常の「知識つめこみ型」の研修とは異なり、身をもって体験し考える『米づくり』を通じた「農業体験型」の研修を実施することで、参加企業の社内コミュニケーションづくりの実践や食料・農業の重要性を学ぶ機会を創出している。 具体的な活動としては以下のような取り組みを実施。 ・手植えによる田植え体験 ・手刈りによる稲刈り体験 ・景観保全を目的とした除草作業など
7. 農村地域への効果	・事業を受け入れたことで地域の活性化が図れた。 ・地元農産物の消費拡大やP Rに繋がった。 ・新たな取り組みが創出された。(企業による野菜作り)
8. 都市部の主体(企業や大学等)への効果	・産地との結びつきが持てた。 ・恵那地域の米のP Rが図れた。 ・参加人数が増え事業として成り立ってきた。
9. 仲介者等の役割	・受入先との連絡調整 ・マスコミなどへの情報提供 ・事業に関する庶務
10. 今後の課題	・生産調整が足かせとなり、これ以上実施面積を増やせない ・米の買取価格が高いなど事業の採算がとれない。 ・特に経費の問題など地域、企業との調整が困難。
11. 関連事業(国・都道府県等)	

